

カフ圧自動調整器 カフキーパーDX



気管の圧迫、呼吸の漏れ、唾液の垂れ込み・・・

呼吸ケアのトラブルを防ぐには、気管チューブのカフ圧管理が重要です。

カフ圧は24時間適正圧に保持されているのがベストです。

カフ圧値を表示し、内蔵のバルンサーでカフ圧を自動調整

カフ圧自動調整器

カフキーパーDX

- 内蔵バルンサーでカフ圧を調整保持
カフ圧を自動調整し、適切なカフ圧を保持します。
- 内蔵ポンプで素早く簡単にカフ圧を設定
ボタン操作で加圧、減圧が可能です。
- カフの異常低圧は内蔵ブザーでお知らせ
します。
- アラーム出力端子にコール機器（別売）
を接続すると遠隔の看護者に知らせます。



- 取付金具(背面)付で固定も確実
本体を人工呼吸器設置台等のフレーム
に固定できます。
- 異常圧力開放弁で機器を保護
異常圧力による機器の故障を防ぎます。
- 開閉クランプで接続時の圧力低下を防止
開閉クランプを閉じて接続時の圧力低
下を防ぎます。

■カフ圧が低い場合の問題

気管チューブ挿入中の患者は、口腔、鼻腔内の分泌物等の垂れ込みや誤えんにより、人工呼吸器関連肺炎(VAP)を引き起こす恐れがあります。人工呼吸器使用中の「空気漏れ」は換気量の低下につながり、呼吸状態の悪化になります。気管チューブのカフは①体液の垂れ込み防止②呼吸の漏れを防止します。

■カフ圧が高い場合の問題

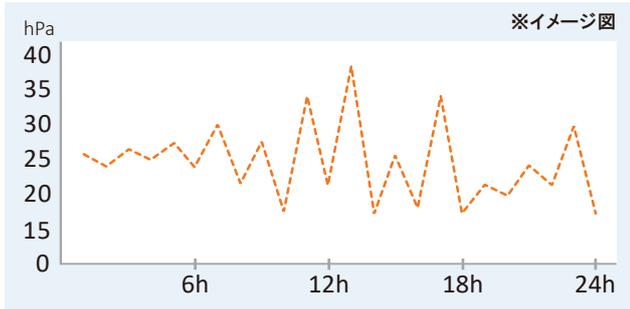
カフ圧が高くなると気管壁を圧迫し、血流の中断や壊死を引き起こし、気管を拡張する恐れがあります。

■カフ圧は体動等で日常的に変動しています

単回のカフ圧調整でカフ圧を常時適正圧に保つことは難しく、カフ圧自動調整器「カフキーパーDX」で24時間適正圧に保持されているのがベストです。

<体動による変化>

体位変換や蛇腹管の移動などにより、瞬時にカフ圧が変動します。

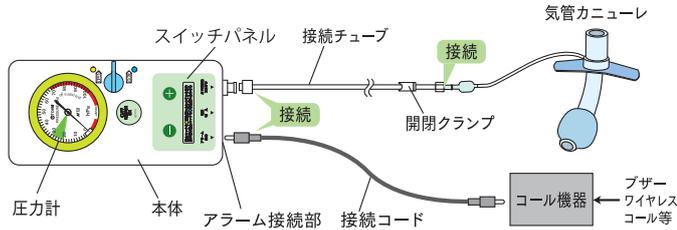


<自然脱気による変化>

時間の経過とともにカフから空気が抜けてカフ圧が低下します。



■接続図



■仕様

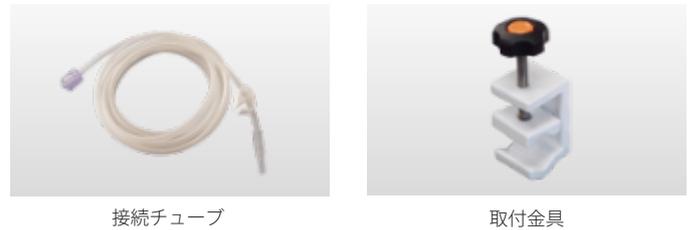
販売名	カフ圧自動調整器「カフキーパーDX」
商品番号	00206A00
医療機器区分	クラスI
医療機器届出番号	44B2X1000100206A
一般的名称	気管内チューブカフィンフレータ
測定範囲	0~70hPa
電源	単4乾電池2本
本体寸法	W85×D75×H175(mm)
質量	350g

■接続チューブのクランプについて

カフ圧調整器の圧力が低下した状態で気管チューブに接続すると、カフ側の空気がカフ圧調整器側に流れてカフ圧が低下します。すると、カフ上部に溜まった体液(唾液等)が肺側へ垂れ込んで誤えん等を発生します。接続チューブのクランプはカフ圧調整器と気管チューブを接続した時のカフ圧低下を防止するために使用します。



■別売交換部品



⚠ 安全にお使いいただくために

●ご使用前に取り扱い説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。●医師および医師の指示を受けた医療従事者のみが使用してください。●大容量低圧カフ付き気管および気管切開チューブとのみ併用してください。●接続チューブは同一患者に対してのみ使用し、再使用禁止です。使用後は破棄し、再滅菌したり再使用したりしないでください。

※製品改良のため、予告なく仕様および価格等を変更する場合がありますので、ご了承ください。

【販売店】

【製造販売元】

TOKSO MEDICAL
 トクソー技研株式会社

〈本社〉
 〒879-0232 大分県宇佐市大根川318番地
 TEL:0978-33-5595 FAX:0978-33-5596
 MAIL:info@amor.co.jp HP:http://www.tokso.net